

**就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議 幹事会（第6回）**  
**議事要旨**

**【開催要領】**

1. 開催日時：2023年11月20日（月）13:00～13:30

2. 場所：内閣府8階第816会議室

3. 出席者：

議長	江浪 武志	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
構成員	吉住 秀夫	内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）
同	吉田 光成	文部科学省高等教育局学生支援課長
同	谷口 正範	厚生労働省人材開発統括官付参事官 （若年者・キャリア形成支援担当参事官室長）
同	島津 裕紀	経済産業省経済産業政策局産業人材課課長
事務局	高橋 洋明	内閣官房内閣事務官（内閣官房副長官補付）
関係者	新田 秀司	一般社団法人日本経済団体連合会労働政策本部長
同	池田 三知子	一般社団法人日本経済団体連合会SDGs本部長
同	大野 英男	就職問題懇談会座長（東北大学総長）
同	伊藤 公平	就職問題懇談会副座長（慶應義塾塾長）
同	大下 英和	日本商工会議所 産業政策第二部長

**【議事次第】**

1. 開会

2. 議長挨拶

3. 議事

2025年度卒業・修了予定学生の就職・採用活動日程等について

4. 閉会

**【資料】**

資料1 内閣府調査結果（学生）

資料2 経済団体・業界団体等へのフォローアップ調査結果

資料3 文部科学省調査結果（大学等）

資料4 文部科学省調査結果（企業等）

**【概要】**

（1）冒頭、議長の江浪内閣官房内閣審議官から挨拶。

（2）内閣官房から資料1、2について説明。

(3) 文部科学省から資料3、4について説明。

(4) このほか出席者からの主な意見は以下のとおり。

- 2025年度卒業予定者の就職・採用活動日程ルールについて、異存はない。就職・採用活動の実態について様々なアンケートが示されているが、こういった実態の把握に引き続き努めるとともに、それを踏まえて、日程ルールの在り方を含めた検討を不断に行っていく必要がある。  
産学協議会の合意を踏まえ、政府としても、質の高いインターンシップの必要性について理解・推進していただいていることに改めて感謝申し上げる。
- 就職活動と学業の両立を最大限の眼目に置いて議論してきた観点から、2025年度卒業予定者の就職・採用活動日程ルールについては結構である。特に、オワハラも適切に入れていただき、また、日程ルールの見直し案における留意事項で、就業体験を行う際に学生に求める学修成果水準の開示などが要件になっていることは、学生や大学にとってもよいことである。タイプ3のインターンシップ自体は卒業・修了年度の6月から学生情報を採用・選考活動に使用できる一方で、新たな日程ルールの要件となるタイプ3の専門活用型は、卒業・修了前年度、すなわち3年終わりの春から実施する必要があるため、少し複雑になっている点に留意して周知が必要。
- 2025年度卒業予定者の就職・採用活動日程ルールについて、大きな異議はないが、調査結果の一部にあるとおり、採用活動の早期化、すなわちルールの形骸化が進んでおり、企業での人手不足が深刻化していることを考えれば、今後その傾向がより強まるおそれがある。こうした状況を踏まえ、今後のルールの在り方や必要性について根本から検討する必要がある。新たなインターンシップの枠組みについて、中小企業からは、定義や要件が分かりにくいとの声が上がっており、中小企業こそ、学生に企業の現場をしっかりと体験してもらい、理解を深めてもらうことが重要であるため、丁寧かつ分かりやすい周知が必要。